

中学校 特別活動

1 改訂の趣旨及び要点

目標の改善

※「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の視点で整理

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質・能力の育成を目指す。

知識・技能の習得

多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

思考力・判断力・表現力等の育成

集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、**合意形成を図ったり、意思決定したり**することができるようにする。

学びに向かう力・人間性等の涵養

自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び**人間関係をよりよく形成**するとともに、**人間としての生き方**についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

内容構成の改善

※特別活動は 学級活動、生徒会活動、学校行事から構成

内容項目の変更

「(1)学級や学校における生活づくりへの参画」の指導の充実を図るため、学級活動(2)(3)の内容項目が整理された。

現行学習指導要領	新学習指導要領
〔学級活動〕 (1) 学級や学校の生活づくり (2) 適応と成長及び健康安全 (3) 学業と進路	〔学級活動〕 (1) 学級や学校における生活づくりへの参画 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現

「**キャリア形成**」とは、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくための働きかけ、その連なりや積み重ねのこと。生徒が、将来直面する様々な課題に柔軟かつたくましく対応し、社会的・職業的に自立していくためには、一人一人が、学ぶこと、働くこと、そして生きることに考え、それらの結び付きを理解していくことで、多様な他者と協働しながら、自分なりの人生をつくっていく力を育むことが必要です。

改善のポイント

☆自治的能力、積極的に社会参画する力を育てることを重視

- ・学級や学校の課題を見だし、よりよく解決するため話し合っ合意形成することが重要
- ・主体的に組織をつくり、役割分担して協力し合うことが重要

○学級活動の学習の過程として、合意形成または意思決定を行うことを明確化

学級活動(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」については、集団としての合意形成

学級活動(2)「日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全」については、一人一人の意思決定

学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」については、一人一人の意思決定

「**合意形成**」とは、一人一人の思いや願いを意見として出し合い、互いの意見の違いや多様な考えがあることを大切にしながら、学級としての考えや取り組むことをまとめること。

同調圧力に流されることなく、批判的思考力を持ち、意見の違いや多様性を認め合い他者の意見も受け入れつつ自分の考えも主張できるようにすることが大切です。

「**意思決定**」とは、学級での話し合いを通して、多様な視点から解決方法を見つけ、現在及び将来に向けた自己実現のために、人間としての生き方を選択・形成すること。

生徒が意思決定したことを将来にわたって生かすことができるように助言することが大切です。

2 中学校特別活動における授業づくりのポイント

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

特別活動における「主体的な学び」の実現

学級や学校における集団活動を通して、生活上の諸問題を自分たちで見だし、解決できるようにする

特別活動における「対話的な学び」の実現

「話し合い活動」を通して、考え方を協働的に広げ深めていく。体験活動などを通して自然と向き合い、学校生活では得られない体験から新たな気づきを得る

特別活動における「深い学び」の実現

課題の設定から振り返りまでの一連の活動を「実践」とし、そのプロセスで教科等の学習で身に付けた知識や技能を働かせ、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」に関わる議題や題材に取り組むよう意図的・計画的に指導していくようにする

学習過程を明確にした授業づくり 学級活動(1)と(2)(3)の例

	学級活動(1) 〈集団としての「合意形成」〉	学級活動(2)(3) 〈一人一人の「意思決定」〉
事前の活動	<p>① 問題の発見・確認</p> <p>学級や学校における生活をよりよくするための諸問題を見付け、学級全員で「議題」を決定、解決に向けて自分の考えをもつ</p> <p>例) ・「いじめや暴力のない、みんなが安心して過ごせる学級にしたい」 →学級全体で決定 議題:「学級生活を見直そう」 →生活を振り返るアンケートを実施し、解決に向けた自分なりの考えをもつ</p>	<p>日常生活や自己の課題、目標、キャリア形成や自己実現に関する内容について、教師が設定した「題材」や問題を確認し、課題と解決の見直しをもつ</p> <p>例) ・学級活動(3)で題材「自分のよさの発見」を設定 ねらい:自分のよさに気づき、今後の職業や生活、将来への興味・関心をもつことができる →「自己理解チェックシート」で自分のよさを考える →「職業特色シート」から、「たくさんの人と協力する職業」等、将来やってみたい職業の特色を選ぶ</p>
本時の活動 (話し合い活動)	<p>② 解決方法等の話し合い</p> <p>問題の原因や解決方法、役割分担などについて意見を出し合ったり、くらべ合ったりしながら話し合う</p> <p>例) ・アンケートの結果を共有し、問題を共有する ・生活の改善方法について話し合い、まとめる(感謝の言葉をつたえる、帰りの会での振り返り 等) 指導・助言) ・いじめの定義等にも触れ、認識を共有する</p>	<p>「題材」や自分の問題の状況を把握し、原因や課題解決に向けた具体的な方法などについて話し合う</p> <p>例) ・ペアで「職業特色シート」を交換し、友達のよさを考えながら「職業リスト」から友達に合っていると思う職業を選ぶ。その理由を伝え合う →学級全体で感じたことや考えたことを話し合う</p>
	<p>③ 解決方法の決定</p> <p>話し合い活動で具体化された解決方法等について「合意形成」を図る</p> <p>例) ・生活の改善を進めるために、学級全体で取り組む活動を決定する(人権標語づくり、帰りの会での「居心地点検」 等)</p>	<p>話し合い活動で共有化された解決の方向性等を参考に、自分としての解決方法等を「意思決定」する</p> <p>例) ・ペアとの交流で、『人と接するのが好き』という自分のよさが再認識できた。将来はいろいろな人と関わる仕事がしたい。これから地域の人や来校された方に積極的に挨拶をするようにしよう」</p>
事後の活動	<p>④ 決めたことの実践</p> <p>決定した解決方法や活動内容を責任をもって実践する</p> <p>例) ・学級の人権標語を作成、帰りの会で振り返りの実践</p>	<p>意思決定したこと、解決方法や活動内容を実践する</p> <p>例) ・地域の人や来校者への積極的な挨拶を心がける ・生活の様々な場面で、積極的に他者と協力する</p>
	<p>⑤ 振り返り</p> <p>実践を定期的に振り返り、意識化を図るとともに結果を分析し次の課題解決に生かす</p> <p>例) ・帰りの会での振り返りの感想を発表したり、振り返りカードを書いたりして、実践を振り返る ・「学級活動コーナー」に実践したことを掲示し、活動の歩みを残す</p>	<p>実践を定期的に振り返り、意識化を図るとともに、結果を分析し次の課題解決に生かす</p> <p>例) ・定期的に振り返りの時間を設け、意欲の継続を図る ・家庭と連携し、保護者に励ましのコメントをもらう</p>

次の課題解決へ